

dynaSchool デジタルノート@クリエイターズ®

# 学びを深める デジタルノート活用術

児童生徒が〈学びの道具〉としてICTを使うために ..... 2

## 教科でのデジタルノート活用事例

総合 (5、6年)	伝わる防災マップにするには？	3
国語 (2年)	どんなふうを読んだら伝わるかな？	
生活 (2年)	トマトはどのように成長するのだろうか？	4
算数 (4年)	この図形の面積、あなたならどう求める？	
社会 (3年)	スーパーマーケットはどんな工夫をしているのだろうか？	5
理科 (6年)	なぜろうそくの燃え方が違うのだろうか？	
体育 (4年)	どうしたらもっとうまく跳べるだろうか？	6
学級活動 (5年)	話し合いにはどんなルールが必要だろうか？	
特別活動 (5年)	苦手なものを克服するには？	7

## 参考資料

小学校での段階別パソコン・ソフトウェア操作スキル習得表	8
学習や教材づくりに役立つdynabookオリジナルアプリ「TruNote」シリーズ	9

### ● デジタルノートって？

ノートを“デジタル化”するだけで、子どもが動き出すーシンプルだから、小学校低学年からでも使いやすい。子どもの主体的な学びを支援する、“次世代の文房具”。



#### ▶ dynaSchool デジタルノート@クリエイターズ®とは

児童生徒にとって最も身近なノート（静的ツール）のもつ“書く・描く力”と、タブレットPC（動的ツール）がもつ、わかりやすい“デジタルの表現力”を融合し、効果的にまとめる力・発表する力を育むことができる学習支援ツールです。タブレットPCで撮ったノートに、デジタルの素材（画像、動画、音声、ペン入力等）を追加することで、デジタルノートが簡単に作成できます。

### ◀ 学習の流れの中で目的に合わせて活用できます ▶



課題への取組



比較・共有・まとめ



発表



ふりかえり

# 児童生徒が 〈学びの道具〉としてICTを使うために

一人一台PC環境の実現により、本当にめざしたいことは何ですか？  
 “主体的・対話的・深い学び”をより充実させ、子どもたちの思考力・判断力・表現力（汎用的能力）を育むために、授業の在り方、学びの在り方、そしてそのための学びのツールを、見直してみませんか。

## ● これからの学びの在り方とICT (Information and Communication Technology)

“教えるため”から“学ぶため”のICT利活用へ。子どもたちが自ら考え、判断し、表現し、探究するためのテクノロジーの活用が進む。



現在の教室では、先生方が「わかりやすく教えるため」に日常的なICTツールの活用が進んでいます。これが、教室の中で児童生徒一人一台PC環境になることを想像してみてください。教えるためのICT利活用から、〈学びの道具〉としてのICT利活用へ—今、転換の時です。

テクノロジーを適切、かつ有効に活用するためには、教員だけでなく、児童生徒が日常的にテクノロジーを使うこと、ICTツールに多く触れることが必要不可欠です。

文部科学省は、「学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報の収集・整理・分析・表現・発信等を行うことができる」ことを、具体的な情報活用能力であると捉え、学習指導要領でもその育成の重要性を明記しています。特定の教科だけでなく、「普段使い」のICTの利活用が加速化していきます。

## ● 児童生徒中心の学びにおけるICT

一人一台PC環境では、児童生徒が学びの中心に。  
 ICTを基盤とする“主体的・対話的で深い学び”の実現へ

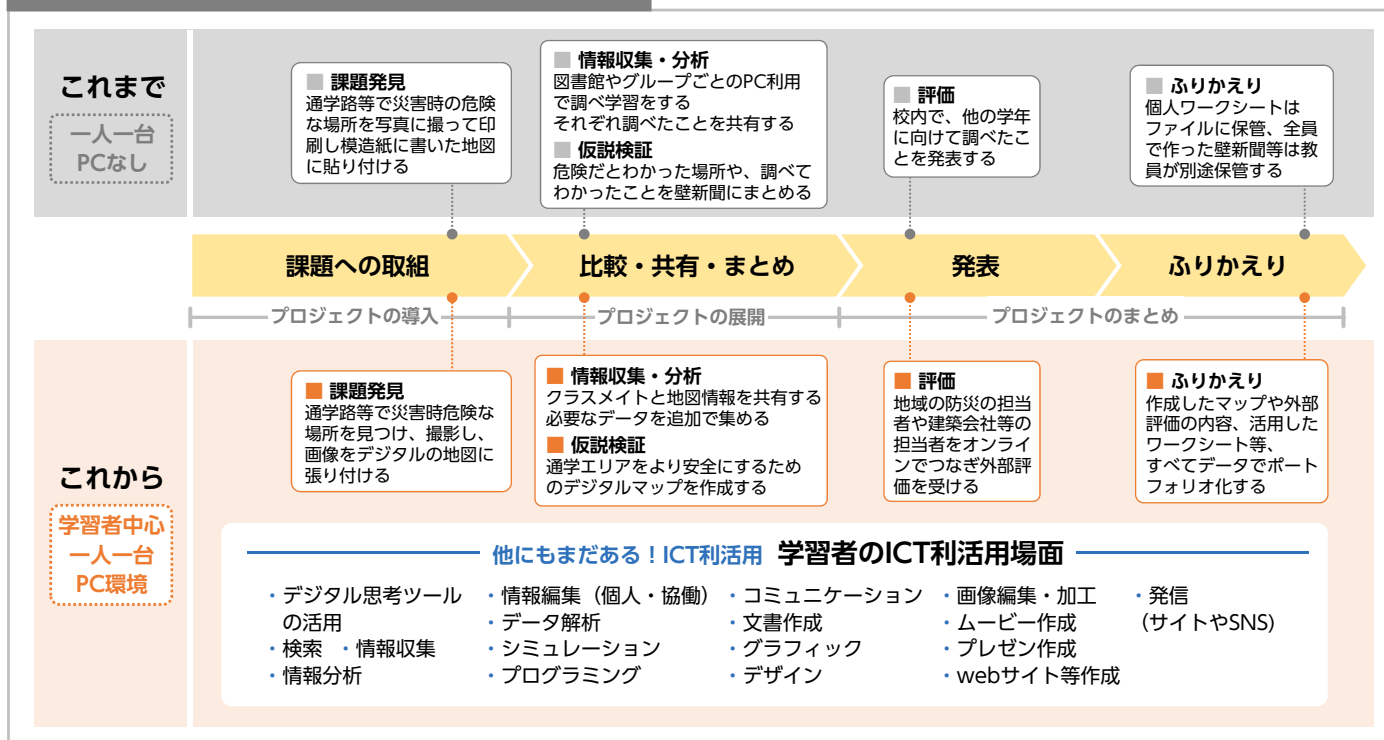
児童生徒自身が自ら考え、判断し、表現し、探究する、これからの学びはICTにより支えられ、その学びの体験は広がり、深まります。

“主体的・対話的で深い学び”が、ICTにより実現する場面を、学習のプロセスになぞらえて整理してみましょう。

例えば、小学校5、6年の総合的な学習の時間で、地域の防災について考えるプロジェクトを実施するとします。

この学習には、課題の設定段階からふりかえりまで、一連の探究的な学習のプロセスが含まれます（下図参照）。それぞれの段階にて、一人一台PC環境におけるICTの効果的な利活用により、児童の学びへの主体性がうながされ、協働による対話が充実します。

### 例) 小学校5、6年・総合・地域の防災マップを作る



## 総合的な学習の時間で育てたい、見方・考え方

各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けてふりかえり、考えること。



### 小学校 5、6年

#### 地域の防災マップを作る

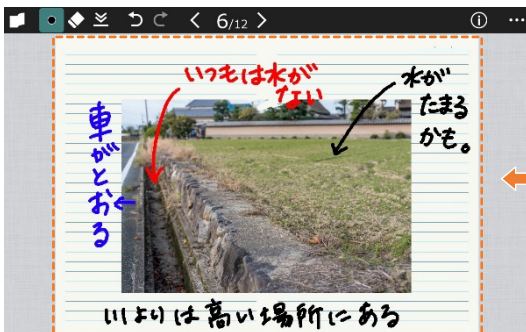
防災マップ作りを通して、自分の住むまちの災害による危険性を知り、防災や減災の意識を高めるとともに、その重要性について周りの人にわかりやすく伝えることができる。

##### 1. 危険なところを考える

- 1 台風や大雨になった際、まちの危険な場所についてハザードマップ等を活用し、学習する。
- 2 市の防災担当の職員にアドバイスを受けながら、フィールドワークを行い、危険な場所、どうして危険なのかを学習する。
- 3 学校のまわりの地図をデジタルノートに取り込み、フィールドワークをふりかえり、話し合いながら、危険な箇所をマークする。  
※可能であれば、危険度に応じて色分け等を行う。
- 4 撮影した写真や動画を活用して、なぜ危険なのか、説明を加える。
- 5 市の防災担当職員に共有し、行政の立場で足りない点や改善すべき点についてアドバイスを受け、見直す。

#### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- 書き込みが容易なため、グループでの話し合いを通して、**試行錯誤**しながら、**考えをまとめ表現**することができる。



##### 2. 安全な避難ルートを考える

- 1 安全に避難することについて考える。
- 2 動画教材を活用して、洪水時の身の守り方等について学習する。
- 3 安全に避難できる場所、安全に避難するためのルートについて考え、再度フィールドワークを行う。
- 4 フィールドワークで撮影した写真をデジタルノートに取り込み、洪水を想定し危険な箇所はないか、安全に避難できるかを○をつけたり気づいたことを書きこみ、グループで共有する。
- 5 防災マップを修正し、マップに避難場所、避難する際に気をつける場所を追加する。その際、フィールドワークで撮影した写真や動画も追加する。
- 6 完成した防災マップを地域の人への発表資料として活用し、地域の人からフィードバックをもらう。



#### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- 写真や動画に書き込みすることができるため、**考えを可視化し、他者との共有**を支援する。
- 修正・追加が容易にできるため、**デザインチェック**や**文字添削**、**フィードバック**等を経て、**改善**することができる。

※上記1. と2. は連続した学習活動としても、それぞれ個別の学習活動としても実施可能です

#### こんな風にも活用できます！

##### ▶ 地域の魅力をアピール

地域の魅力をアピールするために、グループごとにカテゴリーを分け、フィールドワークで調査して、魅力マップを作成する。

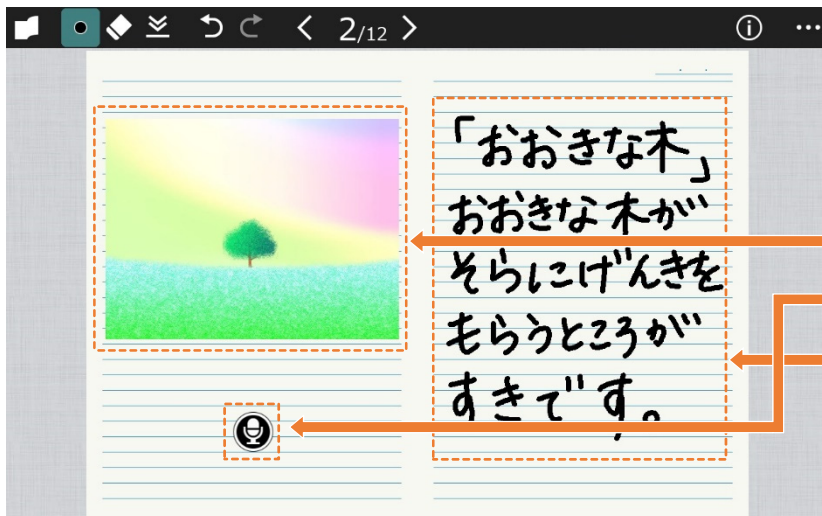
##### ▶ ユニバーサルデザインマップ

高齢者や障がいのある人たちにとって住みやすいまちとはどんなまちかを考え、インタビューやフィールドワークを通して調査し、ユニバーサルデザインマップを作成する。



## 国語で育てたい、教科の見方・考え方

自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること。



### 小学校 2年

#### お話を読んでみましょう

自分のお気に入りの場面に注目して、登場人物の行動を想像しながら自分の言葉で表現し、語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読することができる。

- 1 紹介したい本のお気に入りの場面を撮影し、デジタルノートに取り込む。
- 2 お気に入りの場面を音読し、取り込む。音読チェックリストを確認しながら、改善する。
- 3 「本のタイトル」「どこが」「なぜ」お気に入りののかをデジタルノートに書く。
- 4 クラスメイトと交換して、内容・音読を共有する。

#### こんな風にも活用できます！

##### ▶ 他者評価の機会をプラスして

中学年では…互いの音読（朗読）について他者評価を行うことで、話す力を高めることができる。

##### ▶ 紹介する相手を想定することで

高学年では…相手を特定し、おすすめの本を選ぶことで、相手を意識した言葉の選択や使い方等の表現を工夫し、書く力、話す力を高めることができる。

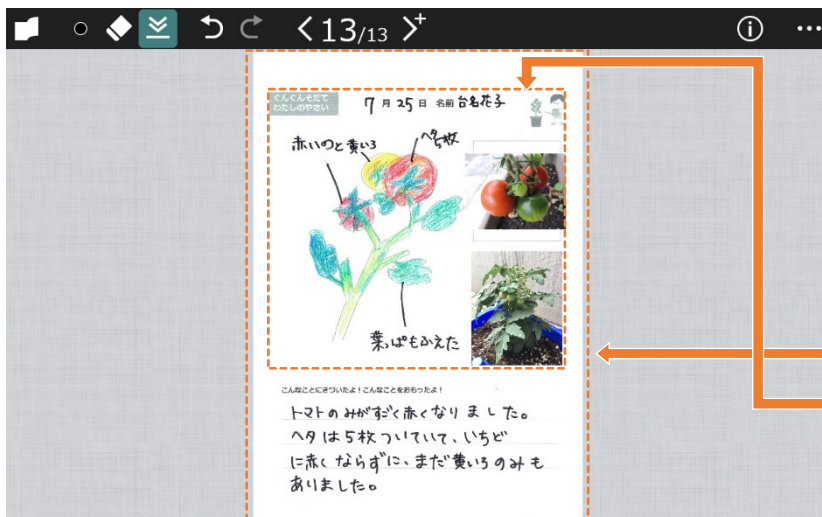
### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- ・音読を簡単に録音・再生することができるため、**主体的にふりかえり、改善**することができる。
- ・自分の思いや考えを文章、音読等**多様な手段**で（相手に対して）表現することができる。

# トマトはどのように成長するのだろう？

## 生活科で育てたい、教科の見方・考え方

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事。



### 小学校 2年

#### ぐんぐん そだて わたしの 野さい

ミニトマトの成長記録を作成することで、植物の変化をふりかえり、成長の様子を理解することができる。また成長記録を協力いただいた地域の方と共有することで、感謝の思いを伝える。

- 1 地域の農家の方のアドバイスを受けながらミニトマトを栽培し、その様子をスケッチや写真で記録する。
- 2 収穫後、手書きで成長記録をまとめる。
- 3 成長記録を撮影し、デジタルノートに取り込む。
- 4 撮影した写真やスケッチをデジタルノートに取り込み、成長記録を完成させる。
- 5 完成した成長記録を協力していただいた地域の方に発表し、お礼のお手紙と一緒に印刷してお渡しする。

#### こんな風にも活用できます！

##### ▶ 写真+手書きノートで記録を充実

低学年では…手書きだけでなく写真等によって表現の広がりをもたせ、学習記録を充実させることができる。

##### ▶ ポスター・壁新聞の代わりに

高学年では…ポスターや壁新聞の代わりにもして利用し、動画や音声を活用し、それぞれの特性を生かした制作物を作成できる。

### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- ・手書きの記録と写真を統合できるため、**多様な表現**を行うことができる。
- ・ノートをPDFとして書き出せるため、そのまま**配付資料として活用**できる。

この図形の面積、  
あなたならどう求める？課題へ  
の取組比較  
共有  
まとめ

発表

ふり  
かえり

## 算数で育てたい、教科の見方・考え方

根拠を基に筋道を立てて考え、問題解決の過程をふりかえる等して既習の知識及び技能等を関連付けながら、統合的・発展的に考えること。

下の図形の面積を求めよう。  
求め方はいくつもあるよ！

式をかいてといてみよう。

$$8 \times 8 = 64$$

$$4 \times 4 = 16$$

$$64 + 16 = 80 \text{ cm}^2$$

考え方(ほかの人の考えも聞いてみよう。)

2つのしかくに分けてから  
計算して足す。

## 小学校 4年

## 面積のはかり方と表し方

L字型の図形の面積をどうすれば求められるか、既習事項を生かして考えることで、面積を求める式に表し計算し、それをわかりやすく説明することができる。またその考え方を他者と共有し、それぞれの求め方の良さを理解することができる。

- 1 L字型の面積を求めるワークシートを撮影し、デジタルノートに取り込む。
- 2 面積の求め方を考え、手書きで書き込む。複数考えた場合は、ペンの色を変える等して書き込む。
- 3 ペアでそれぞれの求め方を共有する。
- 4 自分が選んだ求め方で、計算式を考え、解を求める。(手書きで記入)
- 5 ノートを使って求め方を発表してクラス全体で共有し、自分との違いや、それぞれの方法の特徴を考える。

## ! デジタルノートで広げる! 深める!

- ・ワークシートを事前に作成し取り込むことで、課題を明確に提示し、何度も書き直す等、**試行錯誤しながら、思考を深める**ことができる。
- ・そのまま**共有資料**や**発表資料**として活用することができる。

## こんな風にも活用できます!

## ! 実験や観察の予測として(理科での利用)

4年生では…「電流の働き」で、回路図の電流の向きやモーターが回る向きを予想する。

5年生では…「流れる水の働き」では、水のはたらきで削られるところ、積もるところを予想する等、実験の観察や予測として繰り返し活用できる。

スーパーマーケットは  
どんな工夫をしているのだろう?課題へ  
の取組比較  
共有  
まとめ

発表

ふり  
かえり

## 社会で育てたい、教科の見方・考え方

社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係等に着目して捉え、比較・分類したり統合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

買いたくなる工夫

便利な工夫

安心できる工夫

気持ちがいい工夫

## 小学校 3年

はたらく人とわたしたちの暮らし  
～店ではたらく人

地域に見られる販売の仕事について、見学を通して、それらの仕事の工夫について協働で分析することで、お店の人は、消費者の願いを実現するためにさまざまな工夫をし、売上を伸ばしていることを理解する。

- 1 スーパーマーケットでの買い物想起し、なぜそのお店に行くか考えることで、お店の工夫に目を向ける。
- 2 スーパーマーケットを見学し、工夫を見つけたら撮影する。
- 3 【グループ】撮影した写真をデジタルノートに取り込み、写真を分析しどんな工夫があったか考え、写真を移動させて仲間分けする。
- 4 【グループ】手書きの線や文字を使って、わかりやすく整理する。
- 5 グループで考えたお店の工夫について発表する。

## ! デジタルノートで広げる! 深める!

- ・画像の取り込み・移動が簡単にできるため、資料を活用し、**関連付けや順位付けといった分析**を効果的に行うことができる。
- ・考えを容易に可視化することができ、**協働での活動**を支援する。

## こんな風にも活用できます!

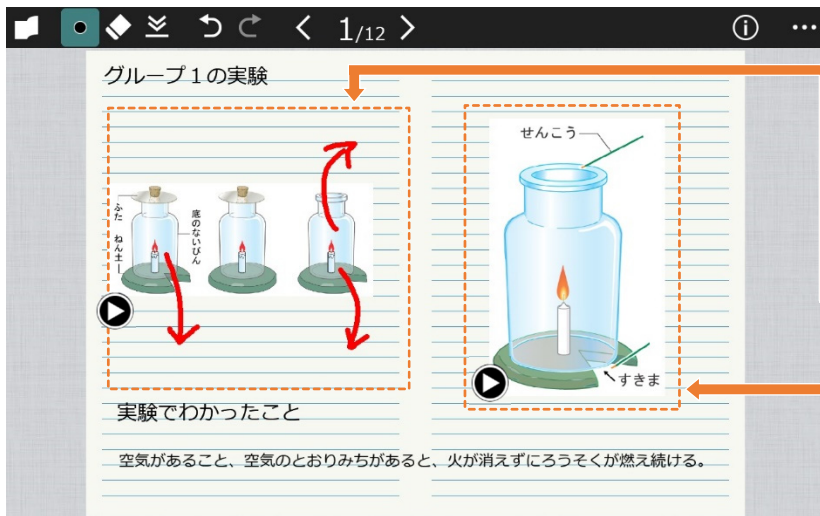
## ! 仲間分けや整理のツールとして

生活科の校庭の生き物の仲間分けや、美術作品の潮流の整理等、写真を活用し、視点・観点の整理や考えの整理をすることができる。



## 理科で育てたい、教科の見方・考え方

自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係等の科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりする等の科学的に探究する方法を用いて考えること。



### 小学校 6年

#### 燃焼のしくみ

物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、燃焼のしくみについての理解を図り、実験の結果を比較し妥当な考えを作りだすことができる。

- 1 集気瓶の中でろうそくを燃やす実験を行い、燃やし続けるための仮説を考える。
- 2 入れ物の大きさや隙間のあけ方を変え、ろうそくの燃え方を実験し、デジタルノートで動画を撮影、撮影したものを比較し、空気の流れの予想を書き込む。
- 3 実際に空気の流れを線香の煙等を使って実験し撮影、撮影したものを比較し、考えをデジタルノートに記入する。

#### こんな風にも活用できます！

##### ▶ 手書きの記録と合体して

実験を記録した手書きの表やグラフを撮影して取り込むことで、動画と合わせて、仮説、実験、まとめを統合した実験記録を作成する。

##### ▶ 写真や動画を拡大して観察

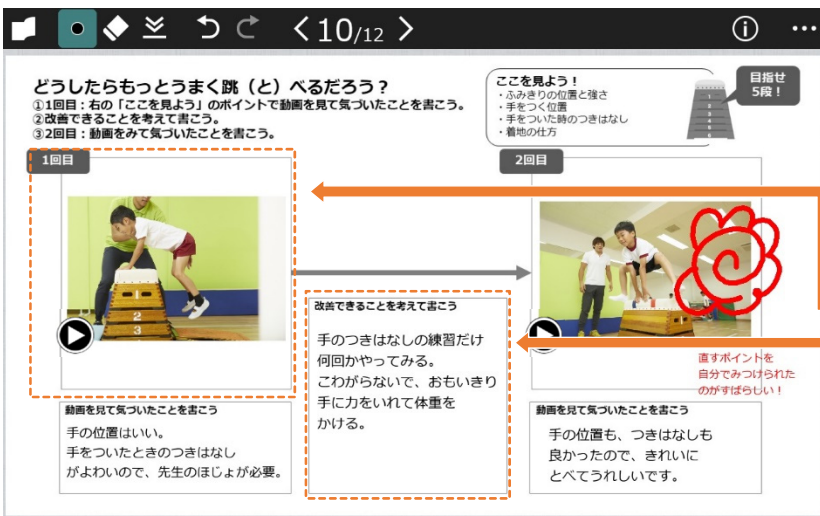
身近な植物を撮影し、その写真を拡大して観察し、グループで話し合いながら、色や形の違い等気づいたことを画像に書き込み、意見を可視化、共有することができる。

### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- ・ 実験結果を容易に映像で比較することができるため、より分析・根拠をもった考察を行うことができる。
- ・ 映像に直接書き込みできるため、観察・分析の視点を明確にすることができる。

## 体育で育てたい、教科の見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の運動やスポーツとの多様な関わり方を考えること。



### 小学校 4年

#### 跳び箱運動

低学年で行った運動をもとに、基本的な支持跳び越し技(切り返し系、回転系)に取り組み、ふりかえりと、めあての設定を繰り返すことを通して、自己の能力に適した技を行うことができるようになる。

- 1 先生の見本を参考に跳び箱の技にチャレンジする。
- 2 【1回目】自身の動画を撮影する。
- 3 デジタルノートにワークシート（観点、めあて）と、撮影した動画を取り込み、観点にそって分析し、改善点を考える。
- 4 【2回目】再度チャレンジし、動画を撮影する。
- 5 動画を取り込み、1回目の動画と比較しながら、改善したことによって、どうなったか、さらに良くするためにどうしたらよいか考える。

### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- ・ 動画とチェックリストを合わせてふりかえることができるため、ふりかえりの観点が明確になり、具体的なめあての設定につながる。
- ・ 時系列で整理することで、学習ポートフォリオとして活用できる。

#### こんな風にも活用できます！

##### ▶ 録音や録画をふりかえりの教材に

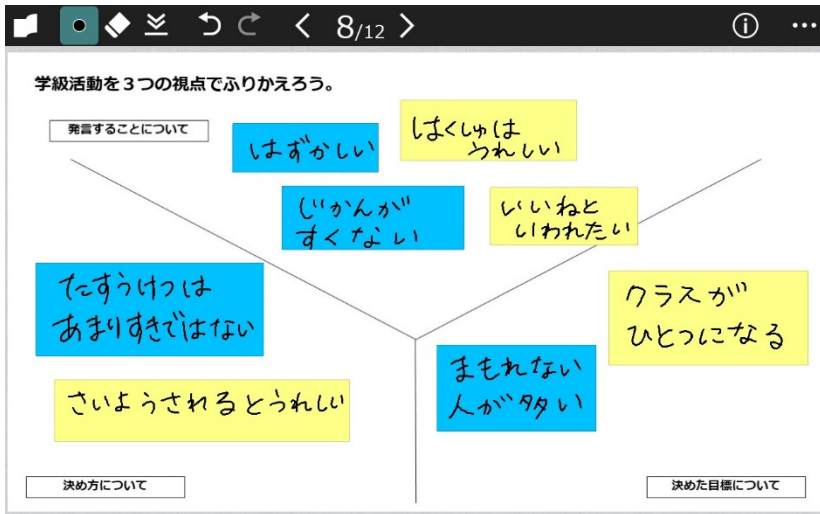
音楽の合奏・合唱や、各教科の発表のリハーサル等を録画し、チェックリスト等のワークシートと合体することで、ふりかえりの教材として活用することができる。

# 話し合いには どんなルールが必要だろう？



## 学級活動の目標

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。



### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- ・ 付箋に手書きの文字や、テキストを追加できるため、グループ協議等で**考えを可視化**することができる。
- ・ 思考ツールと付箋を合わせ、**思考の整理を支援**することができる。

## 小学校 5年

### 学級会のルールづくり

児童が自分たちで学級会でのルールを作ることを通して、自分の考えを持ち、他者の考えを認め、協力して問題を解決するために大切なことを理解する。

- 1 これまでの学級活動をふりかえり、Yチャートの視点にそって付箋に考えを書く。
- 2 グループで共有し、学級会のルールを考える。
- 3 話し合った内容を発表し、クラス全体でルールを決める。

### こんな風にも活用できます！

#### ▶ さまざまなルールづくりに

教室でのルールや、ネット利用のルール等さまざまなルール作りに応用ができる。

#### ▶ ブレインストーミングや思考の整理に

思考ツールと付箋を用いたワークは、学級活動はもちろん、各教科でのブレインストーミングやKJ法的な思考の整理に活用することができる。

# 苦手なものを克服するには？



## 特別活動で進める食に関する指導のねらい

望ましい食習慣の形成を図ることの大切さや、食事を通して人間関係をよりよくすることのよさや意義等を理解すること、給食の時間の楽しい食事の在り方や健康によい食事のとり方等について考え、主体的に望ましい食習慣や食生活を実現しようとする態度を育てる。



### ！ デジタルノートで広げる！ 深める！

- ・ カラー写真を容易に教材化できるため、よりわかりやすい教材で**興味・関心を高める**ことができる。
- ・ ペンでの書き込みや色分けができるため、考えをわかりやすく可視化し、情報の整理分析や思考を支援することができる。

## 小学校 5年

### バランスのよい食事について考える

給食を例に、栄養バランスについて学習することで、バランスよく食べる大切さを実感し、自身の食事の改善点について考える。

- 1 事前に家庭科の時間で栄養のバランスについて学習する。
- 2 2日間の給食の写真をデジタルノートに取り込み、5大栄養素にそって色づけする。
- 3 自身の給食のとり方をふりかえり、栄養バランス等で気づいたことを記録をする。
- 4 グループで共有し、それぞれどんなところを改善したらいいか話し合う。苦手なもの等があれば、どのように工夫したら食べやすいか等、アイデアを出し合う。

### こんな風にも活用できます！

#### ▶ 写真・動画でのポイントや手順を確認 (家庭科での利用)

裁縫の手順を、写真や動画等で工程別に整理し、順番に並び替えることで、ものづくりのプロセスを論理的に順序立てて整理して伝えることができる (プログラミング的思考の家庭科における応用)。



## 参考資料 小学校での段階別パソコン・ソフトウェア操作スキル習得表

ICT活用授業を円滑に実践するためには、低学年から段階的なパソコンやソフトの操作習得・活用スキル育成にむけた計画的な学習が重要となります。下記の表は、小学校段階別に望ましいとされるパソコンやソフトウェアの操作スキル習得表です。

低学年のうちにパソコンの電源操作やマウス、タッチパッドでのファイルやフォルダ操作、また、カメラ撮影や簡単な図形を描くといった基礎的操作に慣れ親しむことが重要です。中学年以上はキーボードを使った文字入力（ローマ字入力習得など）や、文字の体裁を整えるといった“自分の考えを表現する”ための基礎技術を磨くことが必要です。また、プログラミング教育も、教材やプログラミングソフトを使った体験や基礎操作をこのタイミングで学ばせましょう。高学年はそれまでに培ったスキルの総仕上げとして、文書作成ソフトや表計算ソフトなどを活用しつつ、自分の考えを実際にまとめ、プレゼンテーションソフトを使って形にするなど、社会で求められるスキル形成を目指す必要があります。

表の見方

◎：学ぶ

→：鍛える

→：活用する

### ▼機器の基本的な操作

	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生
起動・終了	◎					
持ち運び・保管・充電	◎					
タブレット操作(タップ, ダブルタップ, スワイプ)	◎					
マウス操作(クリック, ダブルクリック)	◎					
ピンチイン・ピンチアウト		◎				
ファイル・フォルダ操作(開く, コピー, 移動)		◎				
写真を撮る・見る・消す	◎					
動画を撮る・再生する・消す		◎				
ファイル保存(フォルダを選ぶ)		◎				
印刷する		◎				
Webで閲覧する・閉じる			◎			
Webで検索する・選ぶ			◎			
キーボードでの入力		◎				
	記号, 英数字					
	ローマ字入力		◎			
			◎			
				◎		

### ▼ソフトウェアの操作

	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生
行を変える				◎		
文字の大きさ・フォントを変える				◎		
文字列の移動・コピー・削除				◎		
文字の種類を変える(漢字, ひらがな, カタカナ, 英数字)			◎			
入力場所を決める				◎		
画像やテキストボックスの挿入・移動・消す・大きさを変える		◎				
線や図を描く	◎					
セル, 列, 行の説明がわかる					◎	
計算式で計算する					◎	
新しいスライドを作成する					◎	
スライドのデザインを決める					◎	
スライドを使ってプレゼンテーションをする					◎	

## 参考資料 学習や教材づくりに役立つ

# dynabookオリジナルアプリ「TruNote」シリーズ

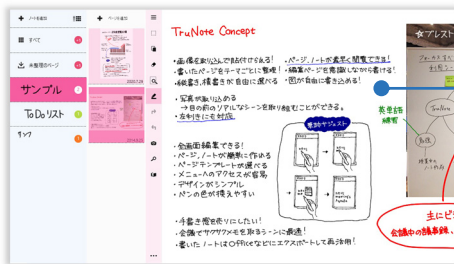
dynabookの2in1モバイルPCには、ペン・カメラ・マイクを有効活用できるオリジナルアプリ「TruNote」シリーズを搭載しています。紙にメモする感覚で手書き入力できる「TruNote」を中心に、Webやホワイトボードの内容を取り込んだり、授業や学習発言の録音、ノートの共有など日常的な授業に活用できます。

ツールノート

## TruNote 手書きノートアプリ



授業の記録をまとめたり、手書きのメモをテキストデータに変換したり、連絡帳としても活用できる便利な手書きノートアプリです。文字や画像、音声などが一体となったデジタルノートを作成でき、授業の楽しさがアップします。



ペンを使えば  
ひらめきや気づきを  
すぐ書き留めたり、  
考えを整理して  
まとめることができます。



作成したノートは  
時系列で表示される  
ので、学習のふりかえり  
やeポートフォリオの  
蓄積に活用できます。

- 最大1,000冊×1,000ページ分を保存できます。  
※実際に保存できる冊数やページ数は、ノートデータの容量や内蔵SSD/フラッシュメモリの空き容量により異なります。
- デジタルならではの機能で、ノート作成や教材作成をサポートします。
- 手書きノートや貼り付けた画像を手書きで検索できます。
- 手書きの図や表をきれいに整形し、簡単に資料やレポート作成ができます。
- OneDriveと連携できます。

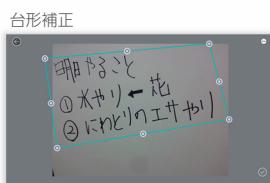
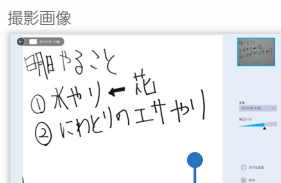
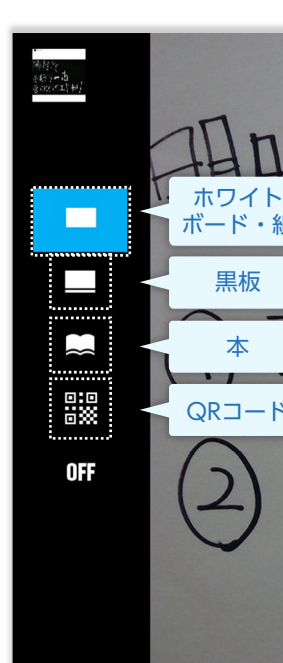
※機種によっては、ご使用いただける機能が限定されています。プレミアム機能(有料)はMicrosoft Storeよりご購入いただけます。  
※手書き検索は、手書きデータを自動的に認識した結果に基づいて行われます。意図した結果と異なる場合があります。  
※手書き文字と基本的図形および表の手書きデータを自動認識して整形しますが、意図した結果と異なる場合があります。  
※手書き文字の認識は、仏 MyScript社の技術を採用しています。

ツールキャプチャー

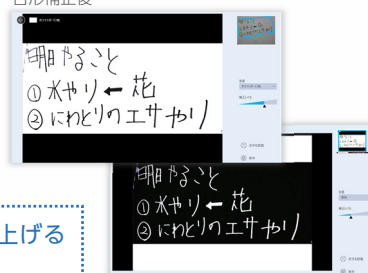
## TruCapture カメラアプリ



ホワイトボードや黒板の内容を撮影したり、手元の資料のデータ化が簡単にできるカメラアプリです。QRコードの読み取りにも対応しているので、デジタルコンテンツにも素早くアクセスできます。



台形補正後



白黒反転後

撮影した画像を白黒反転や台形補正し、見やすい資料に仕上げることができます。

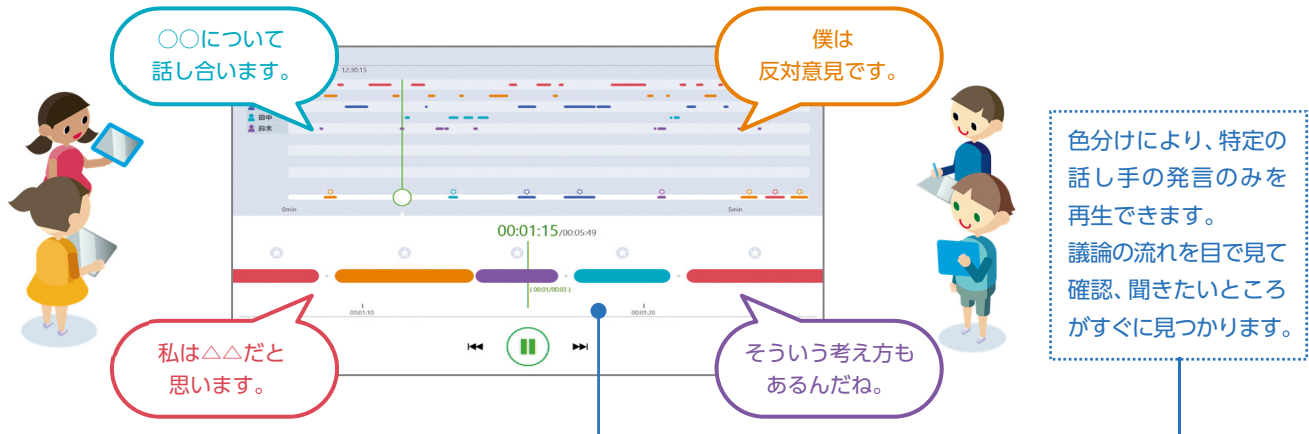
- 教科書に載っているQRコードを読み取り、デジタルコンテンツに簡単にアクセスできます。
- ホワイトボードや黒板、資料、本も簡単に撮影して、きれいに補正できます。
- 写り込みもきれいに補正します。
- 手持ち資料を簡単にデータ化できます。
- 撮影した画像は「TruNote」に自動的に取り込みできます。

※意図した結果と異なる表示となる場合があります。  
※デジタルコンテンツへのアクセスにはインターネット環境が必要です。  
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## トゥルレコーダー TruRecorder ボイスレコーダーアプリ



授業やグループ学習での発言を録音し、話し手ごとに色分けして可視化できるボイスレコーダーアプリです。授業のふりかえりや反復練習に役立ちます。



- 1レコードで最大約3時間の録音が可能です。
- 録音した音声ファイルを「TruNote」で教材や資料作りに活用できます。
- 音声解析機能で話し手を自動的に識別・分類して表示できます。また、特定の話し手の発言のみを再生できます。一度認識した話し手は、次回から自動的に認識可能です。
- 話速変換やスキップで、聞きたい場所を簡単に聞き返せます。

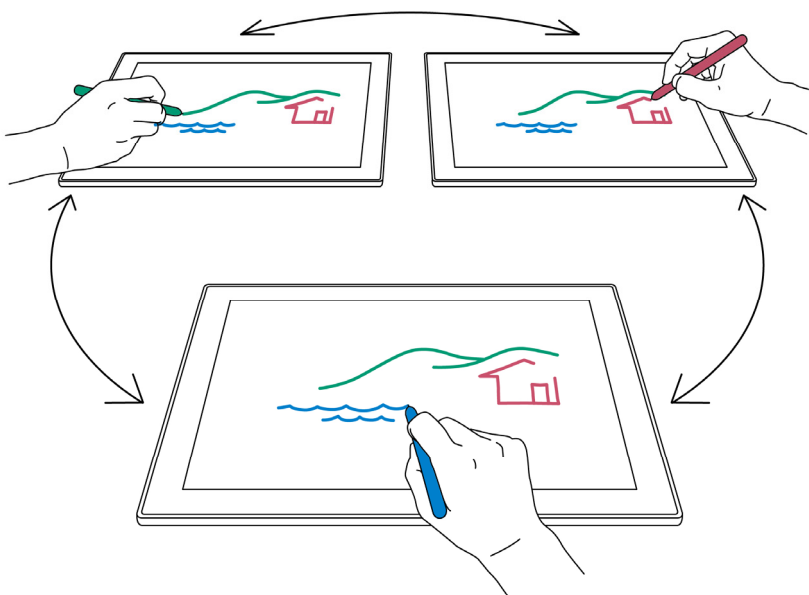
※音声ファイルは、話し手の声が小さい、周囲の騒音が大きい、録音時間が短い（10分以上の録音を推奨）などの場合、解析処理に誤りが生じる場合があります。

※録音環境（騒音、声の大きさなど）によっては、話者識別の性能に影響します。また、録音中にマイクの方向を変えたり、話し手が移動した場合、話者識別の性能に影響します。複数の話し手を認識するためには、10分以上の録音が必要です。

## トゥルノートシェア TruNote Share ノート共有アプリ



PC・タブレットに書き込んだ内容をみんなでシェアし、複数の参加者が同時に書き込むことができるノート共有アプリです。授業やグループ学習のとき、みんなでアイデアを練り上げるのに便利なツールです。



- 一人の書き込みが全員の画面に反映されます。
- 直接通信（Wi-Fi® Directモード）なら、ネットワーク設定が不要で、アプリを立ち上げるだけですぐに使い始められます（最大5台まで）。Wi-Fi®アクセスポイント経由なら40台まで接続可能です。
- 「TruNote」で事前作成した資料をコピーして使えます。

※Wi-Fi® Directモードは、すべての機種で動作を保証するものではありません。直接通信で接続中は、無線LANの使用ができない場合があります。

※Wi-Fi®アクセスポイントを使用する方式で接続する端末は、同じサブネットに属している必要があります。





## **Dynabook株式会社**

**問合せ先** [bunkyo@dynabook.com](mailto:bunkyo@dynabook.com) **弊社WEBサイト** <http://dynabook.com/solution/dynaschool/index.html>

- ・本サイト掲載の製品の名称およびロゴはそれぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- ・デジタルノート@クリエイターズは、株式会社fuzzの登録商標です。
- ・Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・dynaSchoolは、Dynabook株式会社の登録商標です。